

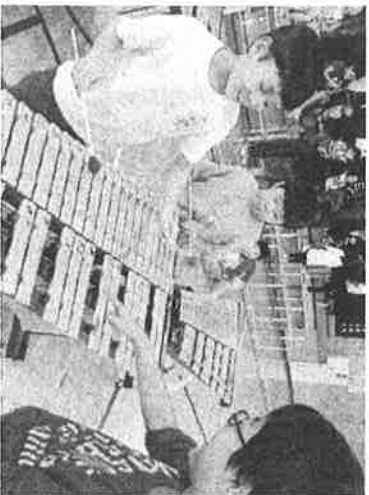
ほっかいほっかい

志木市立宗岡第四小学校
道徳だより 11月号
令和元年11月27日(水)

学校行事を通して育つ道徳性

芸術の秋。4年生は、宗4小の代表として市内音楽会へ出場し、すばらしい演奏をホールいっぱい響かせ、会場からたくさんさんの拍手をいただくことができました。楽曲を仕上げるために、みんなで心をひとつにして力一杯頑張る姿が見られました。お互いに教え合ったり、よいところを認め合ったりすることや関わっていたいただいた方に感謝の気持ちをもったりすることが、「学校生活の中で育つ道徳性」のひとつなっています。

【教え合う姿】



←「これでいいかな？」
「大丈夫だよ。」

↑「#は。ここだよ。」

【聴き合い・認め合う姿】



↓難しいアコーディオン。指使いもグループで確かめ合っています。

→
輪になって
互いの音に
耳を澄ませて
います。

音楽会後の感想文の中には、他校の演奏のよさを認め賞賛する声や、練習に協力してくれた他学年や支えてくれた保護者への感謝の気持ちが溢れています。

【児童の感想から…】

- ・1番大変だったのは歌の練習です。お父さんお母さんに協力してもらってたくさん練習できるようになりました。
- ・私たちがのためにいろいろ多くの方に協力してもらい、ありがとうございました。
- ・他の学校のがつそうもじょうずで、自分たちもがんばろうと思わせてくれました。だから、がんばれたんだと思います。
- ・ほかの学校のがつそうがはくりよくあってすごいなと思いました。自分たちも63人心がひとつにまとまり楽しくできました。
- ・他の学校も上手でした。いつかあんなふうになりたいたいと思いました。
- ・楽器のオーディションはいろいろなものにちようせんし、アコーディオンになりました。やりたかったのにやれなかつた人の分までがんばりました。